

鯨ヶ沢漁業用海岸局

1. 事業の目的

試験船、取締船並びに一般漁船との間で漁業指導監督通信を行なうことにより、沖合漁船の人命財産の保全と航行の安全、海難の防止を主とし、併せて外国200海里海域及びその他の海域の操業秩序の維持と、漁海況情報の速報提供により、水産行政および水産資源研究の充実を図り漁業生産の安定と効率化を図る。

2. 事業の内容

(1) 実施期間

平成元年4月1日～平成2年3月31日

(2) 交信海域

青森県沿岸海域及び日本海全海域・北部太平洋海域

三陸沿岸並びに沖合海域・北海道沿岸海域

(3) 担当者

局長 目 時 利 悦

総括主査 工 藤 衛

総括主査 大 友 守

(4) 取扱通信種別

1) 漁業指導監督通信

○試験船及び取締船との通信

○外国200海里内操業の入域ならびに操業位置、漁獲報告通信

○漁海況情報収集並びに速報通信

○調査協力漁船との漁海況情報収集通信

2) 気象及び航行警報等の周知通信

3) 遭難、緊急、安全の通信

4) 一般漁業通信

5) その他の通信

(5) 通信方式

1) S S B無線電話プレストーク方式通信

2) 気象、航路警報および漁海況情報のF A X受信

3) 遭難自動受信機による24時間常時聴守

4) 選択呼出装置による連絡設定

5) 勤務形態

3. 事業の成果

無線通信による気象情報及び航路に関する警報等を周知提供することにより海難を抑止でき、また漁海況情報を迅速に速報することにより出漁漁船の漁獲の効率的生産を向上させた。

又、調査協力漁船からの無線による漁海況情報事業の強化により水産研究機関のスルメイカ予報事業の円滑化と資源究明に大きく貢献した。さらに外国200海里内操業船の入域及び出域と操業位置及び、漁獲報告により出漁漁船の安全操業に寄与し、かつ資源管理に関する各種の情報通信並びに指導通信により水産行政の遂行に貢献した。

通信取扱実績

月	指導通信	気 象	漁業通信	事故	保安	相手局	通 信 時 間
4	件 615	件 71	件 720	件 0	件 5	局 238	458時20分
5	762	75	928	0	11	478	474 : 40
6	1375	74	583	0	10	443	459 : 50
7	1464	74	553	0	14	354	475 : 20
8	1089	92	509	0	10	282	474 : 50
9	947	93	690	0	5	307	460 : 00
10	703	98	711	0	10	456	475 : 20
11	774	93	735	0	12	318	460 : 00
12	531	105	578	0	9	164	475 : 20
1	450	90	695	0	5	169	475 : 20
2	449	81	399	0	7	171	429 : 20
3	530	105	661	0	4	182	475 : 20
合計 A	9689	1051	7762	0	102	3562	5592時20分
前年度 B	10017	797	10383	10	109	5218	5669時05分
A/B	96.7%	131%	74.7%	0	93.5%	68.2%	98.6%

漁種別所属船隻数

漁 種	併 設 船	電 話 船	合 計	前 年 度	備 考
官 庁 船	3	3	6	6	
沖 合 底 曳		11	11	11	
イ カ 専 業		40	40	44	
マ ス 兼 業		19	19	19	
イ カ その他		30	30	31	
そ の 他		7	7	7	
合 計 A	3	110	113	118	
前年度 B	3	115	118	120	
A/B	100%	95.6%	95.7%	98.3%	

吨数別所属隻数

地 区	10吨以下	10～20吨	20～30吨	30～50吨	50～100	100以上	合 計
岩 崎	0	2	0	0	1	0	3
深 浦	1	5	0	2	1	0	9
鯨ヶ沢	1	5	0	7	1	0	14
下 前	21	14	2	0	2	0	39
小 泊	14	10	1	2	1	0	28
相 内	0	2	0	0	0	0	2
三厩龍飛	1	8	0	0	0	0	9
青 森	0	0	0	0	3	0	3
官 庁	0	1	1	1	1	2	6
合 計 A	38	47	4	12	10	2	113
前年度 B	40	49	4	12	11	2	118
A/B	95%	95.9%	100%	100%	90.9%	100%	95.7%